

登録番号 第 18270 号

トレボン®EW

特長：
 ● 水稲、野菜、花き、樹木類など、多くの作物の害虫防除に使用できます。
 ● 水をベースにした製剤で、有機溶剤の臭いが少ない薬剤です。

有効成分	エトフェンプロックス（化管法第1種）・・・10.0%	包装	500ml×20
性状	類白色粘稠乳濁液体	有効年限	3年
毒性	普通物*	危険物	-

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

【適用害虫及び使用方法】

2023年5月24日付内容

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	エトフェンプロ ックスを含む農薬の 総使用回数
稲	-	ウカ類 ツマグロヨコバイ 付コ類 イトヨトビ カミシ類 イネズミゾウムシ コメカガ	1000倍	60～150 L/10a	収穫14日前 まで	3回 以内	散布	3回以内
		ウカ類 ツマグロヨコバイ	300倍	25 L/10a				
麦類	-	アブラムシ類	1000倍	60～150 L/10a	収穫14日前 まで	2回 以内	散布	2回以内
とうもろ こし	-	ツマジロカサヨトウ	1000倍	100～300 L/10a	収穫7日前 まで	4回 以内	散布	4回 以内
飼料用 とうもろ こし (子実)	-	ツマジロカサヨトウ	1000倍	100～300 L/10a	収穫7日前 まで	4回 以内	散布	4回 以内
ばれいし よ	-	アブラムシ類	1000倍	100～300 L/10a	収穫7日前 まで	3回 以内	散布	3回以内
やまのい も	-	アブラムシ類	1000倍	100～300 L/10a	収穫14日前 まで	3回 以内	散布	3回以内
だいず	-	マシクガ ハシモトウ カミシ類 ツメカガ	1000倍	100～300 L/10a	収穫14日前 まで	2回 以内	散布	2回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	エトフェンプロ ックスを含む農薬の 総使用回数
えだまめ	-	マシクイガ ハスエトウ カミシ類 ツメカガ	1000 倍	100~300 L/10a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
さやえん どう	-	ウチナシジミ シロイモジヨウ	1000 倍	100~300 L/10a	収穫前日 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
実えんどう	-	ウチナシジミ シロイモジヨウ	1000 倍	100~300 L/10a	収穫前日 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
すいか	-	アブラムシ類	1000 倍	100~300 L/10a	収穫 3 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
メロン	-	アブラムシ類	1000 倍	100~300 L/10a	収穫 3 日前 まで	4 回 以内	散布	4 回以内
きゅうり	-	コジラミ類 アブラムシ類	1000 倍	100~300 L/10a	収穫前日 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
なす	-	コジラミ類 アブラムシ類	1000 倍	100~300 L/10a	収穫前日 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
ブロッコリー	-	アオムシ	1000 倍	100~300 L/10a	収穫前日 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
トマト	-	コジラミ類	1000 倍	100~300 L/10a	収穫前日 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
キャベツ	-	アブラムシ類 ヨウムシ アオムシ	1000 倍	100~300 L/10a	収穫 3 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
はくさい	-	アブラムシ類 ヨウムシ アオムシ	1000 倍	100~300 L/10a	収穫 7 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
だいこん	-	アブラムシ類 ヨウムシ アオムシ	1000 倍	100~300 L/10a	収穫 21 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
ねぎ	-	シロイモジヨウ	1000 倍	100~300 L/10a	収穫 21 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
レタス	-	アブラムシ類	1000 倍	100~300 L/10a	収穫 14 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
エンダイ	-	イモガ	1000 倍	100~300 L/10a	収穫 14 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
てんさい	-	ヨウムシ	1000 倍	100~300 L/10a	収穫 14 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	エトフェンプロ ックスを含む農薬の 総使用回数
うど	-	アブラムシ類	1000 倍	100～300 L/10a	根株養成期 但し、収穫 45 日前まで	2 回 以内	散布	2 回以内
きく	-	アブラムシ類	1000 倍	100～300 L/10a	-	6 回 以内	散布	6 回以内
宿根かす みそう	-	シロイモジヨトウ	1000 倍	100～300 L/10a	-	6 回 以内	散布	6 回以内
たदैあい	-	アブラムシ類 ハスモンヨトウ	1000 倍	100～300 L/10a	-	6 回 以内	散布	6 回以内
樹木類(つ つじ類、い ぬまきを 除く)	-	ケムシ類	2000 倍	100～700 L/10a	発生初期	6 回以内	散布	6 回以内
つつじ類	-	ケムシ類	2000 倍	100～700 L/10a	発生初期	6 回 以内	散布	6 回以内
		ツツジゲンハイ	1000 倍					
いぬまき	-	モンアジトゾウムシ	1000 倍	100～700 L/10a	発生初期	6 回 以内	散布	6 回以内
		ケブカカキリ ケムシ類	2000 倍					
水田作物、 畑作物(休 耕田)	豆、材、スサキ、セ イカアワガチ等 の多年生雑草 が優占してい る休耕田	かみシ類	1000 倍	60～150 L/10a	-	3 回以内	散布	3 回以内

使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- (2) 使用前によく振ってから使用すること。
- (3) ねぎのシロイモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布すること。
- (4) 本剤を本田の水稲に対して希釈倍数 300 倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用すること。
- (5) 蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにすること。
- (6) 散布器具、作業衣などは桑用と必ず区別すること。
- (7) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - 1) ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - 2) 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (8) 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- (1) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。使用後は洗眼すること。

- (2) 誤飲などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
- (3) 散布の際は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。また、散布液を吸い込んだり浴びたりしないように注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。
- (4) 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨-----

- (1) 水産動植物（甲殻類、冷水魚）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。養殖池等周辺での使用は避けること。なお、比較的低濃度でも魚が平衡失調を起こす恐れがあるので十分注意すること。
- (2) 散布後は水管理に注意すること。
- (3) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨-----

通常の使用方法では、その該当がない。

貯蔵上の注意事項-----

直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。